

## 製品安全データシート

作成日 2014年7月18日

改訂日 2024年5月16日

### 1. 製品及び会社情報

製品名 2,4-Di-tert-butylphenol

会社名 アーク株式会社

住所 大阪市北区西天満3丁目10-3

電話番号 06-6809-5970

FAX 番号 06-6809-5975

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253:2019 使用

物理化学的危険性 該当する区分なし

健康に対する有害性 急性毒性(経口) 区分4

急性毒性(経皮) 区分5

皮膚腐食性/刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2A

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 【区分2】 腎臓

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 【区分2】 腎臓

環境に対する有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分1

水生環境有害性 長期(慢性) 区分1

GHS ラベル表示

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

臓器の障害の恐れ：腎臓

長期または反復暴露による臓器の障害の恐れ：腎臓

水生生物に非常に強い毒性あり

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

【安全対策】 吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。

漏出物を回収すること。

【保管】 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名 2,4-ジ-tert-ブチルフェノール

化学式 C<sub>14</sub>H<sub>22</sub>O

濃度又は濃度範囲

CAS 番号 96-76-4

官報公示整理番号 化審法：(3)-521、(3)-526、 安衛法：公表化学物質

## 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

医師に連絡すること。

目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。

医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 医師に連絡すること。口をすすぐこと。

重要な徴候 吐き気、めまい、頭痛

応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

消火剤 粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素

特有の消火方法 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用る。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

特別個人用保護具（有毒粒子用フィルター付マスク）を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項 環境への悪影響が懸念されるため、河川等へ排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法

・機材 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

粉塵が飛散しないように注意する。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項 できれば、密閉系で取扱う。

粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件 容器を密栓して冷暗所に保管する。

施錠して保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料 法令の定めるところに従う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具 防塵マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

手の保護具 不浸透性の手袋。

目の保護具 保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态(20°C) 固体

形状 結晶 ～ 粉末

色 白色 ～ うすい赤みの黄色

臭い フェノール臭

pH 情報なし

融点 56°C

沸点/沸騰範囲 261°C

引火点 情報なし

燃焼又は爆発範囲

下限：0.6%

上限：情報なし

蒸気圧 2.25Pa/25°C

蒸気密度 7.1

密度 情報なし

溶解性 可溶：メタノール エタノール ベンゼン ヘキサン

不溶：水 (35 mg/L 25°C)

オクタノール/水分配係数 5.19

自然発火温度 330°C

## 10. 安定性及び反応性

安定性 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。

混触危険物質 酸化剤、塩基

危険有害な分解生成物 一酸化炭素, 二酸化炭素

#### 11. 有害性情報

急性毒性 orl-rat LD50:2400 mg/kg

skn-rbt LD50:2200 mg/kg

ivn-mus LD50:100 mg/kg

ipr-mus LD50:25 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性 情報なし

眼に対する重篤な損傷/刺激性 情報なし

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 IARC = 情報なし

NTP = 情報なし

生殖毒性 情報なし

#### 12. 環境影響情報

生態毒性 魚類 : 48h LC50:2.67 mg/L (*Oryzias latipes*)

96h LC50:0.68 mg/L (*Oryzias latipes*)

甲殻類 : 48h EC50:0.33 mg/L (*Daphnia magna*)

藻類 : 72h EC50:0.49 mg/L (*Selenastrum capricornutum*)

残留性/分解性 0 % (by BOD), 0 % (by GC)

\*既存化学物質安全性点検による判定結果 : 難分解性

生体蓄積性(BCF) 128 - 436 (conc. 20 ug/L), 135 - 360 (conc. 2 ug/L)

\*既存化学物質安全性点検による判定結果 : 低濃縮性

土壤中の移動性  $K_{oc}$ /水分配係数 : 5.19

土壤吸着係数( $K_{oc}$ ) : 情報なし

半減期定数( $P_{aM3/mol}$ ) : 情報なし

#### 13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

#### 14. 輸送上の注意

国連番号 3077

国連分類 クラス9(その他の有害物件)

正式輸送品目名 Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.

容器等級 III

海洋汚染物質 Y

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

#### 15. 適用法令

船舶安全法 危規則危険物告示 別表第1 有害性物質

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 非該当

#### 16. その他の情報

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、最優先して下さい。